



保育士 (H31.4月入社)

私は約20年前、青梅保育園を卒園しました。その後職場体験やボランティア、アルバイト等、様々な立場で縁があり、現在は念願の青梅保育園の保育士として勤務しています。子どもたちと関わっていると、ふと自分が園児だったことを思い出すことがあります。それは決まって「これを作ったな」「ここにお散歩に行って楽しかったな」と素敵な思い出ばかり…。生きる礎を作っていたことへの感謝の気持ちを抱きながら「今度は私が子どもたちの成長を見守る番だ!」と日々子どもたちと奮闘しながら充実した日を過ごしています。保育士という立場になり「子どもたちが昨日出来なかったことが出来るようになった」「運動会などでクラスが一つとなり頑張った」など、子どもたちの成長を感じるとともに、私自身も日々一緒に成長させていただいていることに気がきます。私が年長組の時、発表会でベル演奏をした曲はピリープでした。「♪たとえば君が傷ついてくじけそうになった時は、必ず僕がそばにいて、支えてあげるよその肩を...♪」ピリープの歌詞は様々な場面で生きる支えとなり今でも大好きな曲です。私の夢は「将来私が年長児の担任になったらクラスの子どもたちにピリープの歌詞の意味を伝え、その曲を発表会で演奏したい」ということでした。願叶い今年も年長児の担任となりました。発表会の曲は勿論ピリープです。きっと子どもたちにとって大切な1曲になることを願って発表会に向けて挑戦していきます。素直な心を持った子どもたちばかりです。どのようにこの曲や練習と向き合い仲間とともに未来の扉を開いていくのか。今は子どもたちとの練習を思い描きワクワクしています。



保育士 (R3.4月入社)

短期大学を卒業し、4月から保育士になりました。学生の頃からアルバイトで働かせてもらっていてその際に、周りの先生方が親切に教えてくださったり、子どもたちもとても素直で可愛く、園がアットホームな所に魅力を感じ、青梅保育園で働きたいと思い、就職をしました。現在は、2歳児クラスの担任をさせていただいています。分からない事があると、同じクラスの先生や、周りの先生方が教えてくださったり、サポートをしてくださるので本当に心強く、感謝しています。子どもたちの嬉しそうな顔が見れたり、できなかった事ができるようになった時に見れる誇らしげな顔、朝会うと「先生おはよう!」と挨拶をしてくれたり、忙しい毎日ですが、子どもたちの可愛さが活力になっています。いつまでも子ども心忘れず、子どもと同じ目線に立って、何事にも全力で子どもと向き合えるような保育士になりたいです。残り約半年になりますが、これからも子どもたちと一緒にたくさんの経験をして、子どもたちの成長の手助けになれるように頑張ります。できない事、分からない事もまだまだたくさんありますが、子どもたちと一緒に成長していきたいです。



パート保育士 (H28.11月入社)

私は現在パート保育士として在職していますが、平成12年4月から5年間は正規職員で働いていました。5年間という短い期間ではありましたが、沢山の子どもたちと出会い、とても幸せな時間を過ごしました。結婚を機に、平成17年3月に退職いたしました。今でもその当時の思い出は宝物であり写真とともに大切にしています。結婚してからは、3人の子どもの母となり子育てに追われる日々を送っていました。子育てを通して沢山の繋がり築くことが出来たことは、かけがえのない経験となりました。一番下の子が小学校に上がった時に、園長先生から復職のお話をいただき、再び青梅保育園で働かせていただけることとなりました。10年以上のブランクがあり不安もありましたが、乳幼児期の子どもたちと新たな時間を過ごし、不安が喜びに変わりました。復帰初日の感想は「子どもたちの笑顔を見ることが出来るのは保育士の特権!」ということです。毎日かわいい子どもたちに癒されています。子育ての経験を活かしながら、私自身も笑顔忘れず子どもたちと充実した日々を過ごしていきたいと思っております。